

# TOM'S 52159-TZE21-NF/NZ

## カローラスポーツ リヤバンパーディフューザー純正マフラー装着車用

### 取付・取扱用説明書

この度はトムス リヤバンパーディフューザー純正マフラー装着車用（以下ディフューザー）をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の取付け方を以下に記します。正しい取付けをお願いいたします。  
本取付説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等でご不明な点は、整備解説書等をご参照ください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

**本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に取付けを行ってください。**

**本書（取付 / 取扱説明書）は、必ずご使用になるお客様へお渡しください。**

■品番・適合車種：本製品は以下の車種に対応しています。（2021年4月）

品番	塗装色	備考
52159-TZE21-NF	フラットブラック	H30.6～ トヨタ カローラスポーツ ZWE21#/NRE21# ターボ車：2WD (CVT、6MT) / 4WD
52159-TZE21-NZ	素地	ハイブリッド車：2WD トヨタ純正用品、他社製エアロパーツとの併用はできません。

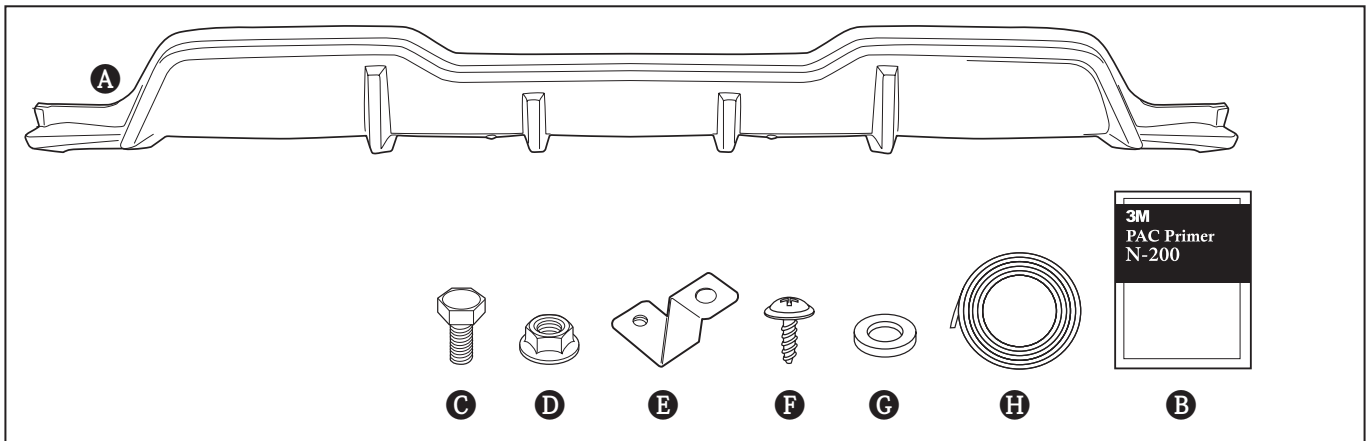
※最新の適合情報は、ウェブサイトをご参照ください。（<https://www.tomsracing.co.jp/>）

■構成部品：本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

No.	品名	個数	備考	No.	品名	個数	備考
A	リヤバンパーディフューザー	1		F	タッピングビス (M4 × 20)	4	
B	プライマー (N-200)	1		G	ゴムスペーサー (3mm)	4	
C	ボルト (M6 × 20)	4		H	ゴムモール (黒、グレー、各3m)	1	素地品のみと同梱
D	ナット (M6)	4					
E	ブラケット	2					

※本製品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全て揃っていることをご確認ください。

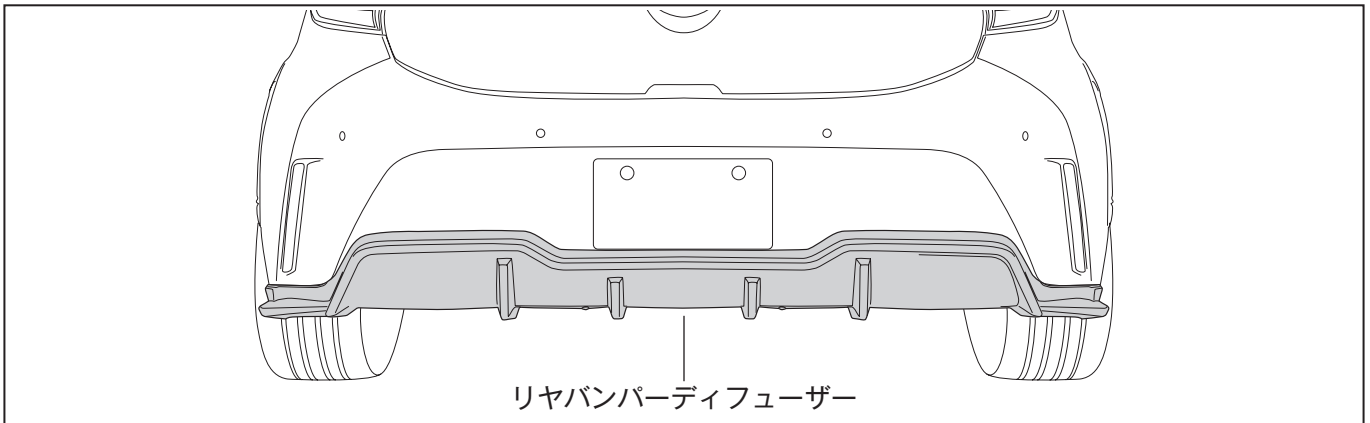
■構成部品：本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。



■取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具
- ・加工用工具 (ハサミ・カッター・キリなど)・ヤスリ
- ・電動ドリル (刃：2.5mm)・保護メガネ
- ・軍手・保護シート・保護 (養生) テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール (IPA)
- ・清潔なウエス

## ■取付構成図



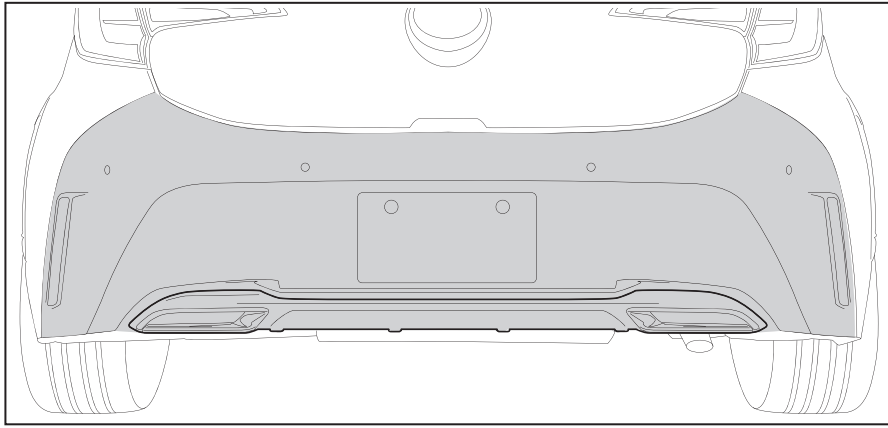
■取付時のご注意（取付作業の方へ）：作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

- |              |   |
|--------------|---|
| <b>警告</b>    | この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険、または、重大な傷害などを負う可能性がある内容について記載しています。     |
| <b>注意</b>    | 注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと、事故に繋がったり、ケガをしたり、車両を損傷するなどの恐れがある事を記載しています。 |
| <b>注意</b>    | 取付け前（素地品は塗装前）に、必ず製品をご確認ください。<br><b>取付け後（または塗装後）は交換等に応じられません。</b>    |
| <b>アドバイス</b> | スピーディに作業していただく上で、知っておいていただきたい事を記載しています。                             |

## ⊘ やってはいけないこと    ⚠ 必ず行っていただくこと

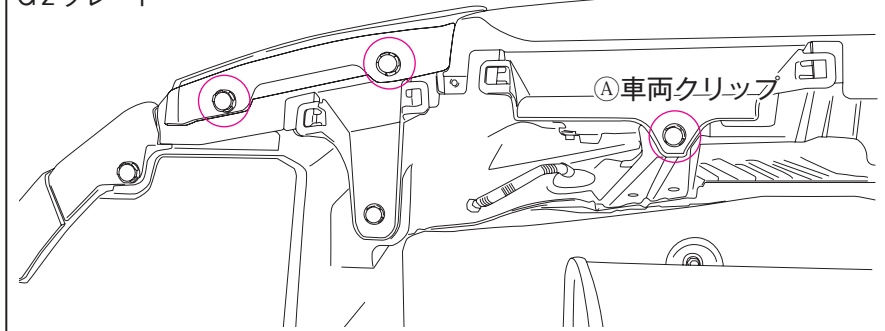
- 警告**
- ⊘ 本商品への改造、加工及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので、絶対に行わないでください。
  - ⚠ 本製品を取付け、交換は、当該車両の修理書（トヨタ自動車㈱）に従い、かつ本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
  - ⚠ 取付けは規定トルクに従って、確実に締め付けをしてください。締め付けが足りないと脱落などにより、重大な事故や故障を招く恐れがあります。
- 注意**
- ⚠ 本製品を取付け前に、構成部品（P1の表参照）が全て揃っていること、損傷や不具合などが無いかを確認してください。塗装後、取付け後に発覚した損傷や不具合に対するクレームには応じられない場合があります。
  - ⚠ 本製品の取付けは、必ず作業員2名で行ってください。
- 脱脂作業について**
- ⚠ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール（IPA）を使用して確実な脱脂を行ってください。
  - ⚠ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナー、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。
- 両面テープについて**
- ⚠ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
  - ⚠ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
  - ⚠ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
  - ⚠ 両面テープの圧着は49 N（5kgf/cm<sup>2</sup>）以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
  - ⊘ 本商品の取付け後3～5時間程度は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。
- 未塗装品の塗装作業について**
- ⚠ 本商品は塗装前に下地処理が必要です。必ずサフェーサー塗装から始めてください。
  - ⚠ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
  - ⚠ 塗装乾燥の加熱温度は必ず40℃以下で行ってください。40℃以上の加熱は製品が変形する恐れがあります。
- 取付けが終わったら**
- ⚠ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
  - ⚠ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
  - ⚠ 該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

### ■ロアカバーの取り外し～リヤバンパーカット



①リヤバンパー周囲を清掃します。

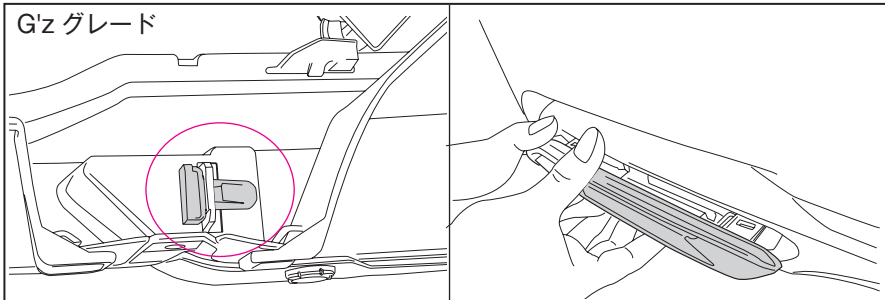
#### G'z グレード



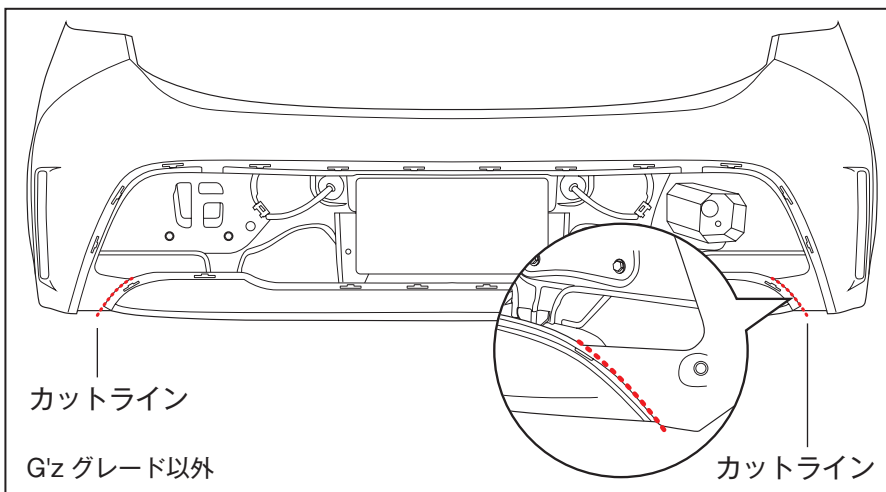
#### ■ G'z グレードの場合

②車両クリップを6箇所（片側3箇所）を外します。A車両クリップは仮合わせ時に使用します。  
※運転席側も同様に作業をおこなってください。

#### G'z グレード

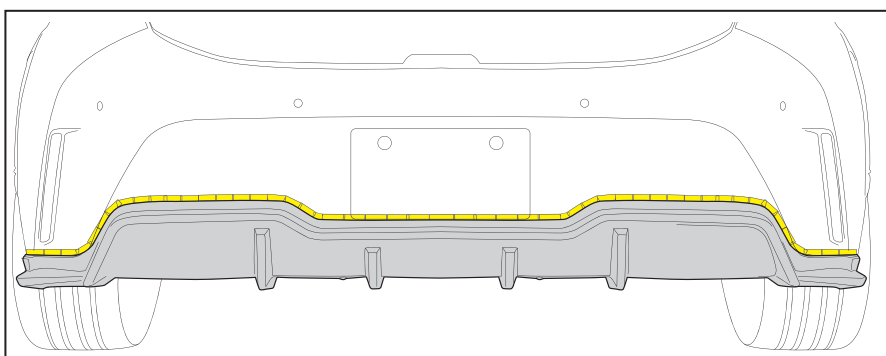
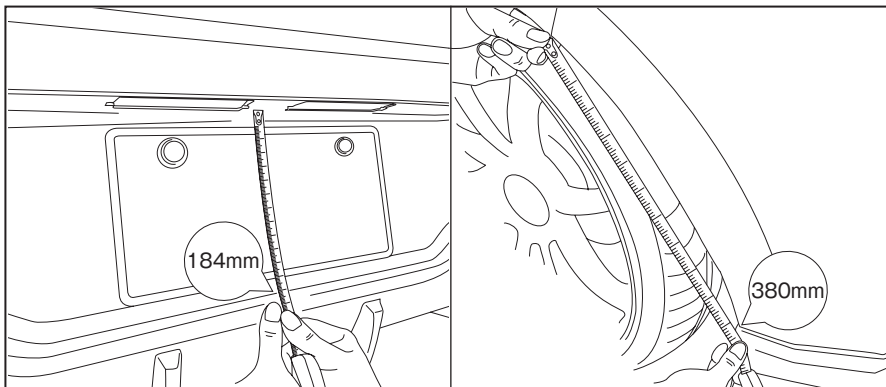
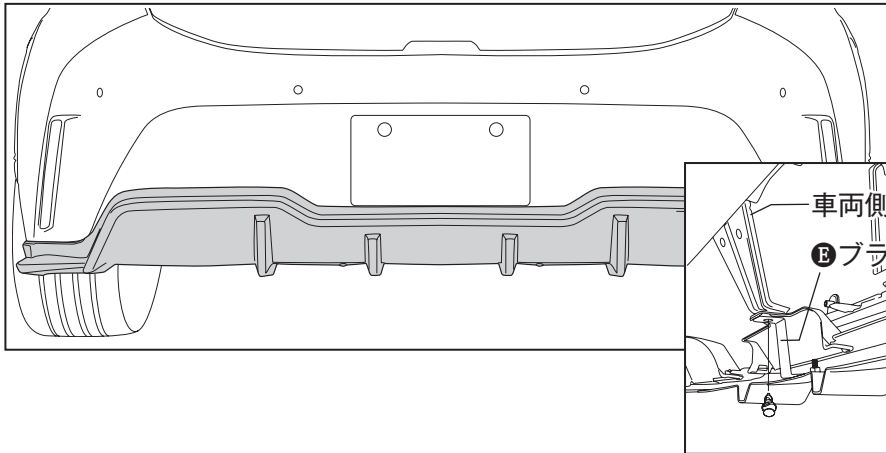
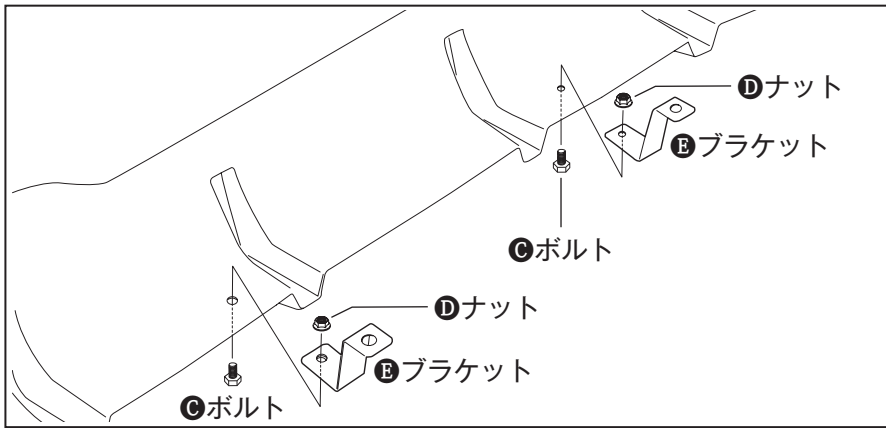


③メッキパーツ裏側のクリップを外し、メッキパーツを取外します。



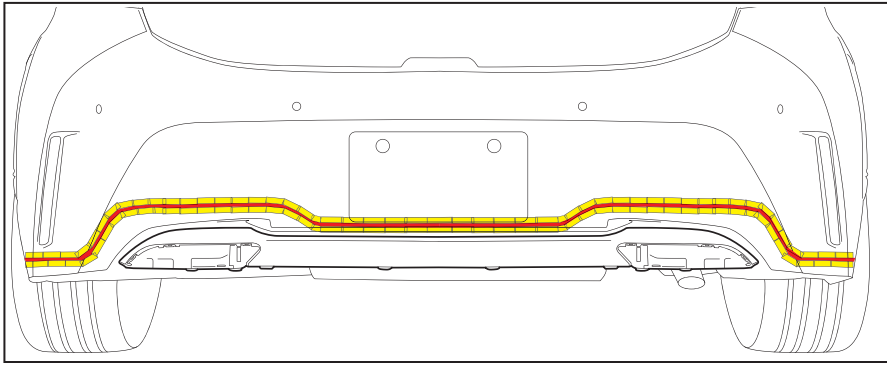
#### ■ G'z グレード以外の場合

②ロアカバーを外し、左図参照に溝に沿ってリヤバンパーをカットします。カット後、ロアカバーを元に戻します。  
(作業後④へ)



**注意**

マーキングが正しく行われないと**A** ディフューザーが正しい位置に取り付けられず脱落の原因となります。また、仮止め時は養生テープなどを使用し、**A** ディフューザーが脱落しようようにご注意ください。



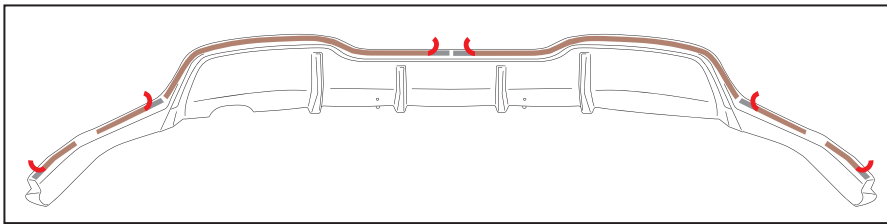
- ⑧ 仮合わせをした **A** ディフューザーを取り外した後、両面テープ接着部分を挟み込むようにマスキングを施し、両面テープ接着面を脱脂。その後 **B** プライマーを塗布します。



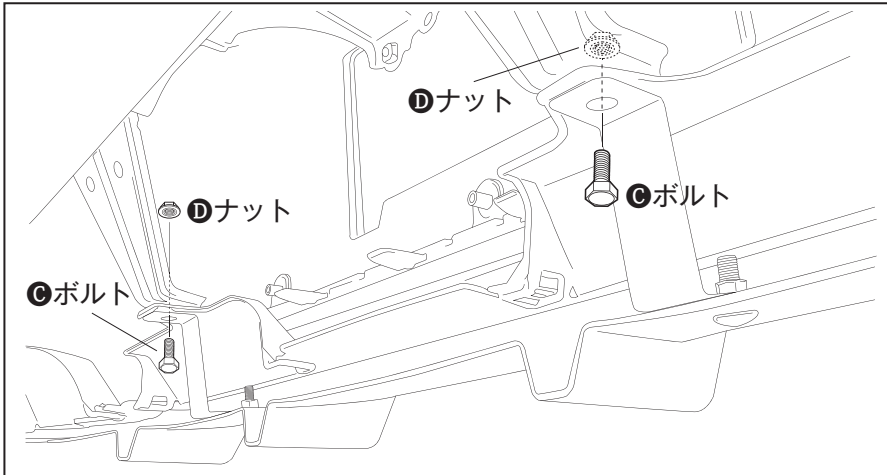
**注意**

プライマー使用に際しては、3MPAC プライマー N200 取扱説明書に従い使用する。  
乾燥の標準状態：23°C で 10 分～3 時間ほこりや汚れ水滴が付着しないようにしながら、十分に乾燥させる。気温 15°C 以下では、加熱器を使用して温める。塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。

- B** プライマー塗布後、下側のマスキングを剥がします。

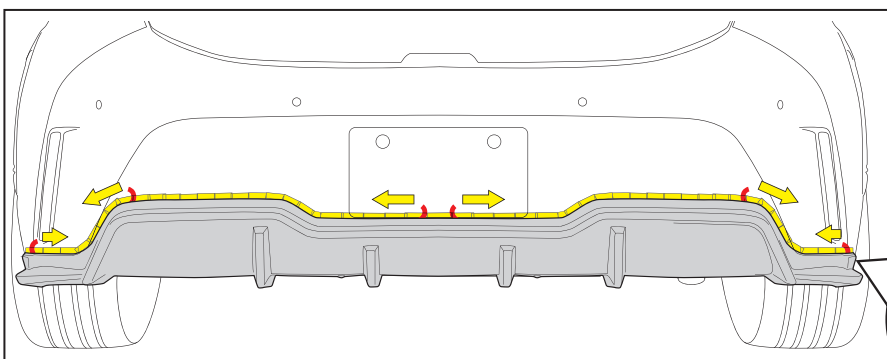


- ⑨ **A** ディフューザーの両面テープ端部の剥離紙を参考図のように 50mm 程度剥がし、仮止め時に剥がしやすく、外側に折り返します。



- ⑩ **C** ボルト、**D** ナットを使用して仮止めを行う。

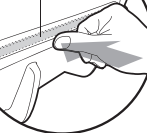
尚、本取付けには車両クリップではなく、**C** ボルトと **D** ナットを使用します。再度、⑦と同様の位置確認を行い、上下左右均等になっているかを確認してください。



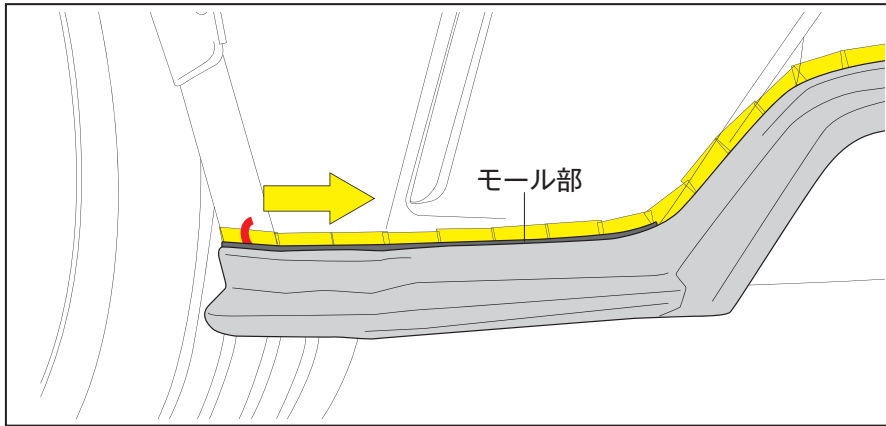
- ⑪ 全体のバランスを再度確認し両面テープ剥離紙を車両中央から外側へ向かって引き抜きながら圧着します。

尚、**A** ディフューザーのサイドの剥離紙の剥がし方については次項⑫をご参照ください。

両面テープ



両面テープの圧着は、【49N (5kgf/cm<sup>2</sup>)】で行う。目安としては、車両が少しゆれる程度です。両面テープの粘着面全体をまんべんなく圧着する。

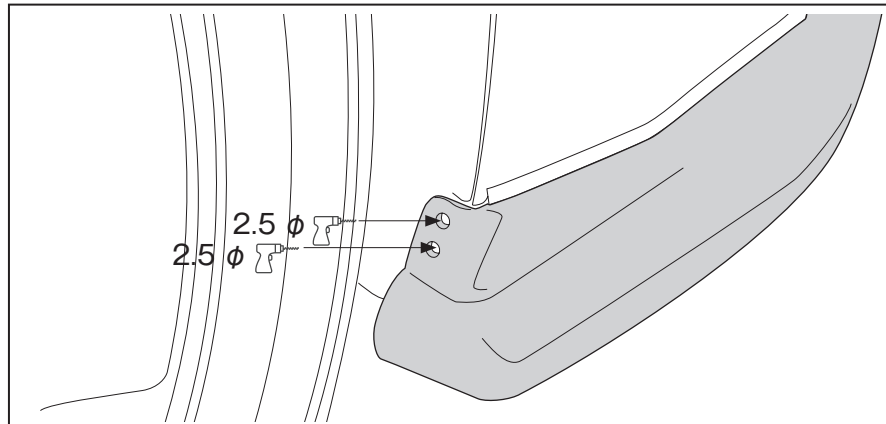


- ⑫ **A** ディフューザーのサイド部（モール部）は、車両前方から後ろへ向かって剥離紙を引き抜くと作業がしやすくなります。

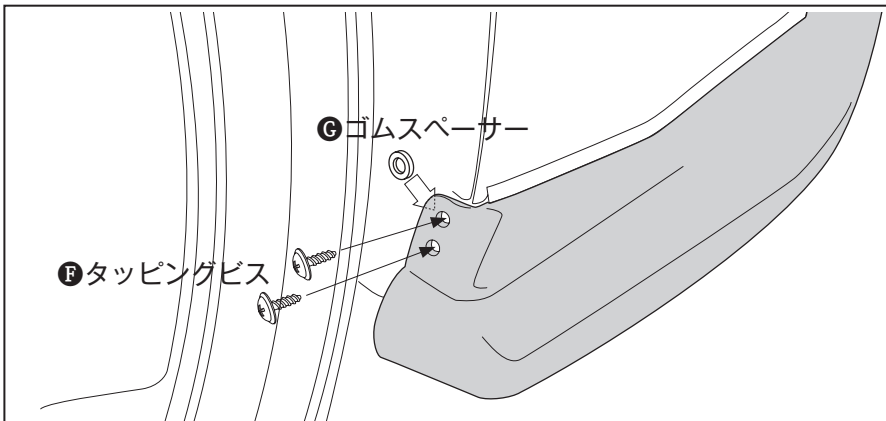


両面テープの貼り直しをすると、接着力が著しく低下しますので、取付けは慎重に行ってください。

**注意**



- ⑬ **A** ディフューザーの位置が確定した後、インナーフェンダーへの折返し部に2.5mmのドリルで穴あけ加工を施します。



- ⑭ **F** タッピングビスで、**A** ディフューザーと、ボディを固定します。  
**A** ディフューザーと、ボディの間に3mm以上の隙間がある場合、**G** ゴムスペーサーで隙間を埋めた後、**F** タッピングビスで固定してください。  
 尚、**F** タッピングビスは**A** ディフューザーに軽く当たる程度で締め付けてください。締め付けが強いと製品の変形、破損や両面テープの剥がれの原因となりますのでご注意ください。

- ⑮ 再度、各部の締め付けと両面テープの貼り付けが確実におこなわれているかを確認してください。

#### ■取付け完了後の確認、点検、及び注意事項



**注意**

- 1 : **A** ディフューザーが車両に確実に取付けられているかを点検する。
- 2 : 製品全体に、浮き、剥がれの無いことを確認、点検する。

両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。最低3時間程度洗車はせず、また強い振動や風圧がかからないよう、静止時間を確保してください。圧着が不十分な場合、浮きや剥がれなどの原因となり脱落などが発生し、大事故につながる恐れがあります。



## ■リヤバンパーディフューザー素地品の塗装手順



素地品は塗装前に必ず仮合わせをして、各部に不具合がないかを確認してください。

注意

**塗装後の交換には応じられません。**

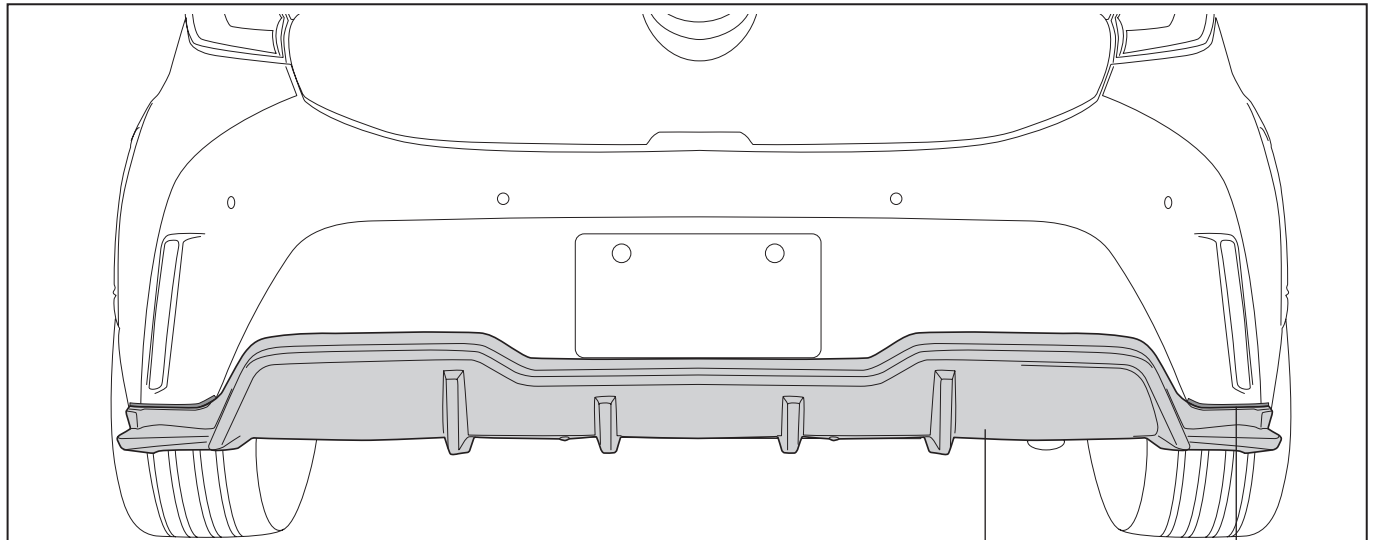
- ① 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリ取り除いた後、ホワイトガソリンやイソプロピルアルコール (IPA) を使用し、塗装面を丁寧に脱脂します。
- ② サフェーサー処理を施します。
- ③ 塗装を施します。塗装乾燥の加熱温度は、製品変形の恐れがあるため、40度以下で行ってください。
- ④ 塗装後脱脂を行い、プライマー塗布後、**H** ゴムモールを貼り付けます。(右図参照)

脱脂、**H** ゴムモール  
貼付け位置



**A** ディフューザー内側

※図は運転席側です。助手席側も同様に作業してください。



〈塗装の参考例〉

**A** ディフューザー→フラットブラック (艶消し黒) / **H** ゴムモール→黒

※上記は当社デモカーを基準とした塗装指示となります。

**A** ディフューザー

**H** ゴムモール



注意

本製品は ABS 製です。適切な塗料、方法にて塗装を行ってください。

**TOM'S INC.**

株式会社トムス 〒158-0082 東京都世田谷区等々力 6-13-10

■お問合せ先 TEL : : 03-3704-6191 FAX : 03-3704-9486

www.tomsracing.co.jp



**TOM'S**